

令和 2 年度

昼間コース

基礎ゼミ
演習指針

長崎大学経済学部

月曜日 4校時開講

令和2年度基礎ゼミ演習指針

教員名：大角 道子

課題テーマ	保険に関する調査研究
内容と方法	<p>本基礎ゼミでは、損害保険や生命保険から選んだ研究テーマについて調査研究し、研究レポートにまとめる。調査研究はグループ単位で行う。グループを編成し、グループで選んだ研究テーマについて調査し、議論を重ねて素案を作成する。素案について教員からフィードバックを受け、さらに検討してまとめたものをクラスで口頭発表する。クラスメートからのフィードバックを受けてさらに検討したものを、最終的に個人レポートにまとめて提出する。</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none">1 現代経済社会に関する幅広い知識とそれらを駆使した思考方法・技術を身につけている。2 自分の考えについて、わかりやすく伝え、討論することができる。3 現代経済社会の課題に対して、専門領域や隣接領域の知識と高度な応用分析能力を総合して、現実を踏まえた解決と新たな価値の創造を図る能力を身につけている。
テキスト	指定なし
成績評価の方法と基準	調査研究と口頭発表を通じたグループへの貢献と個人レポートから総合的に評価する。
その他	
教員連絡先	適宜講義中に伝える。

令和2年度基礎ゼミ演習指針

教員名： 式見拓仙

課題テーマ	<u>線型代数</u>
内容と方法	経済学、統計学、社会・経済の計量分析のためには線型代数の知識が不可欠である。この基礎ゼミでは線型代数のテキストを1つ取り上げ、輪読形式で学んでいく（時間の許す限り読み進める）。事前に指定された範囲を担当者が勉強し、参加者に講ずる（適宜レジュメを配布すること）。また、練習問題に取り組んでもらうこともある。
到達目標	<ul style="list-style-type: none">① 現代経済社会に関する幅広い知識とそれらを駆使した思考方法・技術を身につけることができる。② 自分の考えについて、わかりやすく伝え、討論することができる。③ 現代経済社会の課題に対して、専門領域や隣接領域の知識と高度な応用分析能力を総合して、現実を踏まえた解決と新たな価値の創造を図る能力を身につけることができる。
テキスト	テキスト：川久保勝夫『線形代数学』日本評論社 参考書：松坂和夫『線型代数入門』岩波書店
成績評価の方法と基準	発表の準備を十分にしているか、積極的に質問をしたか、毎回出席しているかなどをもとに評価する。
その他	テキスト参考書を紐解いてもらえばわかるが、いずれも本格的な入門書であり、予習・復習に十分時間を割かない限り理解は覚束ない。
教員連絡先	東南アジア研究所 3F Email: shikimi@nagasaki-u.ac.jp

令和2年度基礎ゼミ(a)演習指針

教員名： 式見 雅代

課題テーマ	教養としての経済学
内容と方法	<p>テキストを輪読する。初回に、各回の報告者を決定する。報告者は、該当箇所をまとめ、パワーポイントを用いて報告し、論点を整理する。他の参加者は、論点について討論する。教科書で用いられている経済データは、2010年付近までのものなので、データ期間を延長させ、直近までのデータの収集を求めることがある。</p> <p>具体的なトピックは、以下の通り。詳細は教科書を参照のこと。</p> <p>経済成長と個人の成長 国際金融危機とその解決法を探る どうして貧困なのか?--制度設計の問題として捉えよう 日本の財政について考える 「大学生が多すぎる」は本当か? 今の医療でいいの?--より時代のニーズにあった医療制度を考えよう 廃棄物の値段はどう決まる?--経済学が見落としがちな「モノの世界」 イノベーションをどのように促進するか? 効率とは? 格差とは? 衡平とは? 需要と供給の世界--ミクロ経済学への誘い 経済全体を丸ごとつかむ!--マクロ経済学への誘い 協力の科学としての経済学--ゲーム理論への誘い 社会をデザインする--腎臓移植で考えるマーケットデザイン 為替レートの決まり方--為替で確実に儲ける方法!? 変動するものの価値を評価してみよう 公正かつ自由な競争とは何か? 増税も国債も同じこと? 歴史の中の私たち--グローバルな視座と社会の律動 電力が変える経済社会の風景--ベル・エポックのドイツ都市 温泉資源から見た資源利用の歴史</p>
到達目標	<p>① 現代経済社会に関する幅広い知識とそれらを駆使した思考方法・技術を身につけている。</p> <p>② 自分の考えについて、わかりやすく伝え、討論することができる。</p> <p>③ 現代経済社会の課題に対して、専門領域や隣接領域の知識と高度な応用分析能力を総合して、現実を踏まえた解決と新たな価値の創造を図る能力を身につけている。</p>

テキスト	『教養としての経済学—生き抜く力を培うために』一橋大学経済学部編、有斐閣、2013年
成績評価の方法と基準	出席状況、課題への取り組み、主体的・積極的なゼミへの参加態度、報告やプレゼンテーション等総合的に判断する。無断欠席は、認めない。
その他	経済の諸問題に関心がある人がよい。 熱心に主体的に学ぶ学生を望む。
教員連絡先	mshikimi@nagasaki-u.ac.jp

令和2年度基礎ゼミ(a)演習指針

教員名： 千野 厚

課題テーマ	ファイナンス理論の基礎
内容と方法	<p>内容： 本ゼミでは、主にファイナンス分野の基礎的な理論を英文のテキストを用いながら、ゼミ参加者の発表等を通じて理解していく。具体的には、金融資産の価格決定理論を主に学習する。</p> <p>方法： 基本的には、毎回のゼミにおいて、テキスト内の指定範囲に関して、受講者がプレゼンテーションを行っていく。継続的な課題報告を行うことにより、発表者およびゼミ参加者の、論理的思考力、分析力、プレゼンテーション能力等を養成していく。</p>
到達目標	<p>① ファイナンスに関する基礎的な理論を習得する。</p> <p>② 学習した内容を、人にわかりやすく伝え、討論することができる。</p>
テキスト	<p>以下のテキストを用いる予定（各自で購入する必要）。</p> <p>Investments by Bodie, Kane and Marcus, Paperback, McGraw-Hill (2017)</p>
成績評価の方法と基準	ゼミでの発表、議論に対する貢献度などを総合して評価する。
その他	ファイナンス理論に興味があることが必須。また、ゼミにおける報告の準備には相当な時間をかけて取り組む必要がある。
教員連絡先	E-mail: achino@nagasaki-u.ac.jp

令和2年度基礎ゼミ演習指針

教員名：深浦厚之

課題テーマ	未知の知識に挑む
内容と方法	<ul style="list-style-type: none">● 「自分に関係ない」「難しいそう」「知らなくても済む」…こういった態度は物事を学ぶ上で最も避けなくてはならない態度です。このゼミではみなさんが（おそらく）これまでに触れたこともない、そしてこれからも触れることがなさそうな事項を用いて、「ゼロから学ぶ」「苦勞して学ぶ」「不得意なことでもやらなくてはならない」ことを体験してもらいます。● 下記のテキストの各章を担当し、教師として他の受講生に講義をするとともに、練習問題を作成します。
到達目標	<ul style="list-style-type: none">● 「ゼロから学ぶ」「苦勞して学ぶ」「不得意なことでもやらなくてはならない」ことを体験する。● 自ら学び、かつ他人に教えることの難しさを体験する。
テキスト	完全独習「ベイズ統計学入門」、小島寛之著、ダイヤモンド社、2015、¥1800
成績評価の方法と基準	ゼミナールへの参加意欲・プレゼンの良否により評価する。
その他	
教員連絡先	afukaura@nagasaki-u.ac.jp

火曜日 4校時開講

令和2年度基礎ゼミ演習指針

教員名：小野 哲

課題テーマ	会社の数字の読み方を学ぶ
内容と方法	<p>【内容】 本基礎ゼミは、会社の貸借対照表と損益計算書に記載されている数字を使って、会社の収益性・効率性・安全性・成長性について分析する方法を学ぶとともに、会社の経営管理に有用な手法（損益分岐点分析など）についてもその概要も把握することで、数字を用いて会社の経営内容を判断するための基礎的な知識を修得することを目的としています。</p> <p>【方法】 テキストの輪読（レポーターを決め、そのレポーターがレジメやスライドを作成し、レポーターのプレゼンやそれに基づきディスカッションを行うもの）を通じて上記内容に関する知識を習得していきます。テキストの輪読終了後、原則2～3名（1人でも可）のグループを作り、そのグループが関心のある会社を選択し、選択した会社の貸借対照表と損益計算書を使用して、当該会社の収益性・効率性・安全性・成長性について分析したレポートを作成してもらいます。最後に各グループが作成したレポートに基づくプレゼンを行い、授業の総括とします。</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none">① 現代経済社会に関する幅広い知識とそれらを駆使した思考方法・技術を身につけている。② 自分の考えについて、わかりやく伝え、討論することができる。③ 現代経済社会の課題に対して、専門領域や隣接領域の知識と高度な応用分析能力を総合して、現実を踏まえた解決と新たな価値の創造を図る能力を身につけている。
テキスト	林 總『会社の数字が面白いほどわかる「財務3表」入門』三笠書房（知的生き方文庫）。
成績評価の方法と基準	各自の授業への取り組み方、レポーターによるレジメやスライド及びプレゼンテーション、グループワークによるレポートとプレゼンテーションなどから知識・理解度・表現力等を中心に評価を行います。
その他	本基礎ゼミの内容上簿記の知識が必須となりますから、簿記の授業の単位を取得していることを履修条件とします。
教員連絡先	研究室：本館5階532 E-mail：onotetsu@nagasaki-u.ac.jp

令和2年度基礎ゼミ(b)演習指針

教員名： 式見 雅代

課題テーマ	教養としての経済学
内容と方法	<p>テキストを輪読する。初回に、各回の報告者を決定する。報告者は、該当箇所をまとめ、パワーポイントを用いて報告し、論点を整理する。他の参加者は、論点について討論する。教科書で用いられている経済データは、2010年付近までのものなので、データ期間を延長させ、直近までのデータの収集を求めることがある。</p> <p>具体的なトピックは、以下の通り。詳細は教科書を参照のこと。</p> <p>経済成長と個人の成長 国際金融危機とその解決法を探る どうして貧困なのか?--制度設計の問題として捉えよう 日本の財政について考える 「大学生が多すぎる」は本当か? 今の医療でいいの?--より時代のニーズにあった医療制度を考えよう 廃棄物の値段はどう決まる?--経済学が見落としがちな「モノの世界」 イノベーションをどのように促進するか? 効率とは? 格差とは? 衡平とは? 需要と供給の世界--ミクロ経済学への誘い 経済全体を丸ごとつかむ!--マクロ経済学への誘い 協力の科学としての経済学--ゲーム理論への誘い 社会をデザインする--腎臓移植で考えるマーケットデザイン 為替レートの決まり方--為替で確実に儲ける方法!? 変動するものの価値を評価してみよう 公正かつ自由な競争とは何か? 増税も国債も同じこと? 歴史の中の私たち--グローバルな視座と社会の律動 電力が変える経済社会の風景--ベル・エポックのドイツ都市 温泉資源から見た資源利用の歴史</p>
到達目標	<p>① 現代経済社会に関する幅広い知識とそれらを駆使した思考方法・技術を身につけている。</p> <p>② 自分の考えについて、わかりやすく伝え、討論することができる。</p> <p>③ 現代経済社会の課題に対して、専門領域や隣接領域の知識と高度な応用分析能力を総合して、現実を踏まえた解決と新たな価値の創造を図る能力を身につけている。</p>

テキスト	『教養としての経済学—生き抜く力を培うために』一橋大学経済学部編、有斐閣、2013年
成績評価の方法と基準	出席状況、課題への取り組み、主体的・積極的なゼミへの参加態度、報告やプレゼンテーション等総合的に判断する。無断欠席は、認めない。
その他	経済の諸問題に関心がある人がよい。 熱心に主体的に学ぶ学生を望む。
教員連絡先	mshikimi@nagasaki-u.ac.jp

令和2年度基礎ゼミ(b)演習指針

教員名： 千野 厚

課題テーマ	ファイナンス理論の基礎
内容と方法	<p>内容： 本ゼミでは、主にファイナンス分野の基礎的な理論を英文のテキストを用いながら、ゼミ参加者の発表等を通じて理解していく。具体的には、金融資産の価格決定理論を主に学習する。</p> <p>方法： 基本的には、毎回のゼミにおいて、テキスト内の指定範囲に関して、受講者がプレゼンテーションを行っていく。継続的な課題報告を行うことにより、発表者およびゼミ参加者の、論理的思考力、分析力、プレゼンテーション能力等を養成していく。</p>
到達目標	<p>① ファイナンスに関する基礎的な理論を習得する。</p> <p>② 学習した内容を、人にわかりやすく伝え、討論することができる。</p>
テキスト	<p>以下のテキストを用いる予定（各自で購入する必要）。</p> <p>Investments by Bodie, Kane and Marcus, Paperback, McGraw-Hill (2017)</p>
成績評価の方法と基準	ゼミでの発表、議論に対する貢献度などを総合して評価する。
その他	ファイナンス理論に興味があることが必須。また、ゼミにおける報告の準備には相当な時間をかけて取り組む必要がある。
教員連絡先	E-mail: achino@nagasaki-u.ac.jp

令和2年度基礎ゼミ演習指針

教員名： 張 笑男

課題テーマ	日本の法制度に関する理解を深める。
内容と方法	本ゼミは、次の①と②の組み合わせにより行う。 ①内容：指定テキストを基に、法制度全般もしくは会社に関する法制度の基礎知識を習得していく。方法：指定テキストの担当部分を割振り、各回報告者による報告の後、全員による討論を行う。 ②内容：法制度に関わる時事問題をディベートする。方法：決められた論題について、肯定側・否定側・ジャッジのいずれかの立場に分かれ、全員によるディベートを行う。
到達目標	①現代経済社会に関する幅広い知識とそれらを駆使した思考方法・技術を身につけることができる。 ②自分の考えについて、わかりやすく伝え、討論することができる。 ③ 現代経済社会の課題に対して、専門領域や隣接領域の知識と高度な応用分析能力を総合して、現実を踏まえた解決と新たな価値の創造を図る能力を身につけている。
テキスト	①伊藤正己・加藤一郎「現代法学入門（第4版）」（有斐閣、2005） ②吉田稔・北山雅昭・渡邊隆司「ライフステージから学ぶ法律入門」（ミネルヴァ書房、2014）
成績評価の方法と基準	出席・遅刻状況並びに報告、討論及びディベートへの参加態度等に基づいて総合的に評価する。 ただし、以下の場合は成績評価の対象としない。開講期を通して①報告後の討論において1度も発言しなかった場合。②欠席回数が3回を超える場合。③欠席等により割り当てられた報告をしなかった場合、もしくは割り当てられたディベートに参加しなかった場合。 また、ゼミへの参加態度が著しく悪い場合（例：度重なる無断遅刻、頻繁な居眠り、グループワークへの消極的な態度等）は成績評価の対象としないことがある。
その他	【注意事項】 出張等により休講とした場合には、水曜日4限に本ゼミの補講を行う。補講を行う場合にはあらかじめ掲示等により周知する。
教員連絡先	choshonan▲nagasaki-u.ac.jp（▲を@に変えてください。）本ゼミの履修に関して不安なことや質問がある場合は、上記メールアドレスにご連絡ください。

令和2年度基礎ゼミ演習指針

教員名： 林川 万理水

課題テーマ	企業情報開示と意思決定行動
内容と方法	<p>企業情報開示は財務情報の開示を中心として、情報内容・情報量・開示方法が多様化している現状がある。当基礎ゼミでは、広く企業情報開示の意義を理解し、意思決定行動に欠かせない適正な開示について追究していく。</p> <p>(1) 基礎テキストを用いて企業情報開示の機能的意義を理解し、現行の開示手段の妥当性を検討する。</p> <p>(2) 監査を含む一連の企業情報行動と意思決定行動のケースを考察し、問題分析と理想の開示システムについて創造的議論を行う。</p> <p>(3) 創造した理想のシステムの実行可能性を検証する手段として、社会科学における「行動実験」がもつ役割を理解する。</p> <p>(4) 演習を行う。</p> <p>上記(1)～(4)について、テキスト理解を深めるプレゼンを輪番制で行い、その後、教員が提供する教材を使って議論をし、当領域の学術研究の手法についても現状を学ぶ。</p>
到達目標	企業の情報開示の意義
テキスト	内藤文雄『会計学エッセンス第4版』中央経済社、2020年。
成績評価の方法と基準	プレゼンテーションとディスカッションの内容、その他のゼミ中のワークの成果で評価する。その他詳細は、初回ゼミで開示する。
その他	
教員連絡先	hmiyuki@nagasaki-u.ac.jp 095-820-6386

第2クォーター

火曜日 4・5校時開講

令和2年度基礎ゼミ演習指針

教員名：中西善信，藤井暢人

課題テーマ	文章コミュニケーションに基づく論理的・実践的思考力の獲得
内容と方法	<ul style="list-style-type: none">● 履修上の注意<ul style="list-style-type: none">・第2Q 火曜4・5時限開講（他の基礎ゼミと開講時期が異なる）。・中西・藤井・山口ゼミの3ゼミでは合計90名の学生を募集する。なお、経営学の観点からの学習を希望するものは中西・藤井ゼミを、経済学の観点からの学習を希望するものは山口ゼミを希望すること。それぞれ学習内容は異なるため、演習指針を確認すること。また、中西・藤井合同ゼミのクラスは機械的に振り分けるため、教員の選択は不可とする。・90名の定員のうち、<u>ビジネス実践力育成プログラムの受講者58名については、希望者全員を第1志望のゼミに受け入れる。</u>・よって、<u>残りの32名の学生を、同プログラムを受講していない学生から募集する。</u>ただし、希望するゼミがプログラム受講者の応募によって規定人数（中西・藤井ゼミは60名、山口ゼミは30名）を越えた場合、履修できない場合があることを理解すること。・本基礎ゼミを履修する場合、その事前学習として第1Q開講「プロジェクト・リテラシー」科目の履修を義務付ける。よって、「プロジェクト・リテラシー」を履修できないものは応募しないこと。● 内容と方法<ul style="list-style-type: none">① ロジカルな文書の作成<ul style="list-style-type: none">・テキストの内容のディスカッション，作文演習，学生相互による批評等② 経営現象のロジカルな説明<ul style="list-style-type: none">・独立変数，従属変数，調整変数，媒介変数を用いた因果的推論の訓練等
到達目標	<ul style="list-style-type: none">① 自らの考えを的確に伝達できる文書作成スキルを身に付けている（論理的構成を持つ文章を組み立てられる，事実と意見を区別できる，誤解の生じないような文を書ける等）。② 経営現象がなぜ生じるのかについて，因果関係に基づく論理的思考力を身に付けている（社会現象を変数に分解でき，その関係を説明できる等）。
テキスト	木下是雄『理科系の作文技術』（中央公論新社） ☆1回目の講義までに購入しておくこと（単位付与のための必要条件）
成績評価の方法と基準	平素の学習成績
その他	ビジネス実践力育成プログラム生は，プログラムを通じて何を学ぼうとしているのか，常に自問自答すること。
教員連絡先	中西善信： nakanishiy@nagasaki-u.ac.jp 藤井暢人： fujii@nagasaki-u.ac.jp

令和2年度基礎ゼミ演習指針

教員名：山口純哉

課題テーマ	地域政策立案演習～地域の持続可能性を高める術を考える～
内容と方法	<ul style="list-style-type: none">● 履修上の注意<ul style="list-style-type: none">・第2Q 火曜 4・5 時限開講（他の基礎ゼミと開講時期が異なる）。・中西・藤井・山口ゼミの3ゼミでは合計90名の学生を募集する。なお、経営学の観点からの学習を希望するものは中西・藤井ゼミを、経済学の観点からの学習を希望するものは山口ゼミを希望すること。それぞれ学習内容は異なるため、演習指針を確認すること。また、中西・藤井合同ゼミのクラスは機械的に振り分けるため、教員の選択は不可とする。・90名の定員のうち、<u>ビジネス実践力育成プログラムの受講者58名については、希望者全員を第1志望のゼミに受け入れる。</u>・よって、<u>残りの32名の学生を、同プログラムを受講していない学生から募集する。</u>ただし、希望するゼミがプログラム受講者の応募によって規定人数（中西・藤井ゼミは60名、山口ゼミは30名）を越えた場合、履修できない場合があることを理解すること。・本基礎ゼミを履修する場合、その事前学習として第1Q開講「プロジェクト・リテラシー」科目の履修を義務付ける。よって、「プロジェクト・リテラシー」を履修できないものは応募しないこと。● 内容と方法<ul style="list-style-type: none">・長崎を素材に、地域課題の析出から地域政策の立案に至る政策形成過程をグループ単位で体験する。・なお、上記を体験するにあたっては、必要に応じて地方自治体や商工団体などの支援を得る。
到達目標	<ol style="list-style-type: none">① 地域社会の現状を把握し、地域課題を析出できる。② 地域課題の解決に資する地域政策を立案できる。③ 地域の課題や地域政策の内容を他者に伝えることができる。
テキスト	下記文献の内容を基礎ゼミがスタートするまでに理解しておくこと。 上野千鶴子 [2018] 『情報生産者になる』 筑摩書房
成績評価の方法と基準	演習への参加（80%）・最終プレゼンテーション（20%）
その他	以下のような学生の参加を希望します。 <ul style="list-style-type: none">・地域社会に対する自身の興味・関心、「やりたいこと」は横に置き、地域の持続可能性という観点から「やるべきこと」を追究したい学生。・所定の時間（第2Q 火曜 4・5 時限）外に実施する、資料調査、フィールドワークやディスカッションなどのスケジュールを優先できる学生。
教員連絡先	山口純哉：junya-y@nagasaki-u.ac.jp